

第 14 回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知 (2 日目)

日時 令和元年 10 月 30 日 (水)、31 日 (木)

場所 高知市ちばさんセンター

2 日目

・ 課題討議

「議会活性化のための船中八策」

・ コーディネーター

坪井ゆづる (朝日新聞論説委員)

・ 事例報告者

滝沢一成 (上越市議会議員)

久坂くにえ (鎌倉市議会議長)

小林雄二 (周南市議会議長)

※ 船中八策

坂本龍馬が 1867 年 (慶応 3 年) にまとめた新しい国家の構想。大政奉還などの 8 つの策からなり、土佐藩船、夕顔丸の中で竜馬が後藤象二郎に示した。

コーディネーター坪井ゆづる朝日新聞論説委員がそれぞれの事例報告者の地元で取り組んでいる議会改革について報告を受け、これを材料に議会活性化について意見交換をして、次の八策を取りまとめた。

- (1) 監視機能の強化
- (2) 次世代を見据えた議論
- (3) データを踏まえた議論
- (4) 多様性の確保
- (5) 地方自治法 96 条 1, 2 項の活用「普通公共団体の議会は、次に掲げる事件を議決してなければならない。①条例を設け又は改廃すること。②予算を定めること③決算を認定すること。」
- (6) 労働法制の見直し
- (7) 情報公開の徹底
- (8) 議員間の徹底議論

所感

2 日目の課題討論では、それぞれの地元で取り組む特長的な事案は、上越市議会では、本庁舎移転整備に係り、公共施設の在り方などで閉会中に継続審査として所管調査を実施したこと。鎌倉市議会では、会議規則を改正して女性議員の出産休暇を明記したこと。周南市では、基本条例を定めることに縛られ、機動性と柔軟性が失われることを懸念して「形より実」取り議会改革を進めたことなどそれぞれの議会が抱えている課題を解決する中で、議会改革に取り組んでいた。

本市議会では、議会基本条例に基づき議会改革の推進に向け取り組みを進めていますが、今回のフォーラムに参加してみて、より一層市民目線で住民福祉の向上に取り組む大切さを感じました。